

# つくってみよう④モカシン

■ ■ カッターやとがったものを使うので、かならず大人の人と一緒に作業してください ■ ■

## モカシン作りの工程

- ① 革を用意する
- ② 道具を用意する
- ③ 型紙を作る
- ④ 革を切り、パーツを作る
- ⑤ パーツを結び合わせる

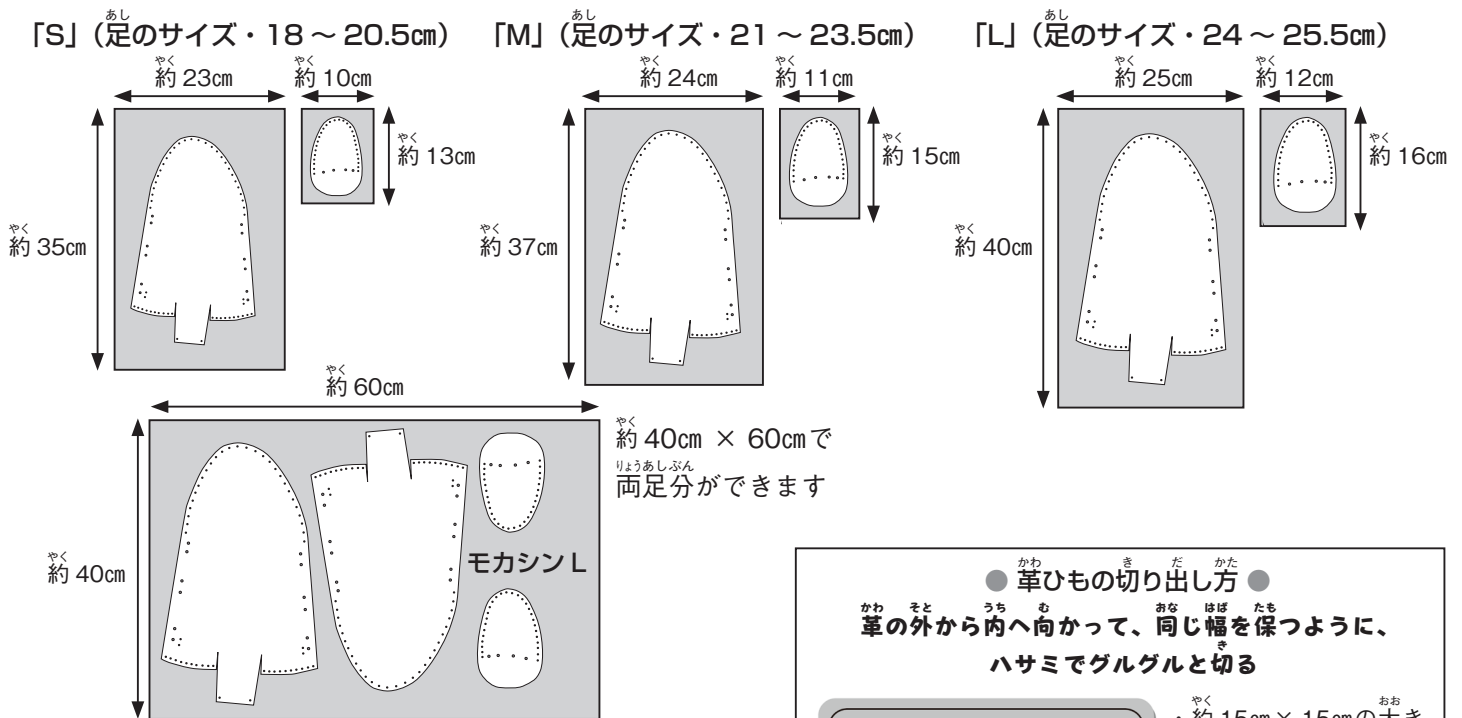
それぞれの工程を順をお追って解説していきます。

### ① 革を用意する

○ 牛の革や 100 円ショップで売っている合成皮革などで試してみましょう。

○ 厚さ…約 1mm の革が工作に適しています。

○ 必要な大きさ…型紙のサイズによって違ってきます。以下を目安にしてください (片足分)。



○ 革ひも…直径約 1 ~ 2mm の糸を約 1m × 2 本、幅約 5mm の革ひもを約 1m × 2 本使います。幅約 5mm ~ 10mm の平らなひもでも代用できます。

○ 購入…革を売ってるお店や 100 円ショップなどが近くになれば、インターネット通販などをご利用ください。「レザー」「レザークラフト」などの言葉で検索すると、多数の販売店を探せます。

● 革ひもの切り出し方 ●

革の外から内へ向かって、同じ幅を保つように、ハサミでグルグルと切る

- ・約 15cm × 15cm の大きさから、5mm 幅の革ひもを約 3m50cm 作ることができます。
- ・革の厚みは約 1mm あると、しっかりしたひもになります。

2 道具を用意する

## はさみ



かわ かたがみ き かわ き  
革や型紙などを切る。革を切るためには刃が厚手の工作用はさみが適している

## カッター



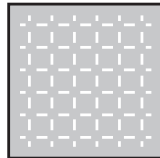
はさみで切りにくいところをカットする

## 筆記具



ボールペンか細いマジックが適している

## カッターマット



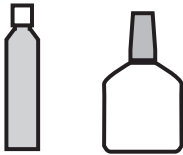
かたがみ かわ き とき したじ  
型紙や革を切る時に下敷きにする

## 定規



カッターを当てて、真っ直ぐに切る時に使う。15cm以上のものがよい

## 接着剤



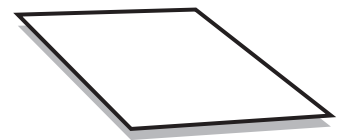
かたがみ つく かみどうし は とき  
型紙を作る（紙同士を貼る）時にはのり、革を貼る時には木工用接着剤を使う

## 穴あけ道具



あな どうく  
キリ、千枚通しなど、厚紙と革に穴を空けられるとがったもの

## 厚紙



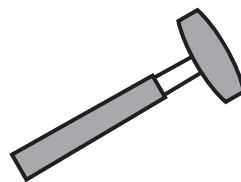
かたがみ だいし がみ あつ  
型紙の台紙になるボール紙や厚めの画用紙など。B4以上か、A4サイズをつないで使う

## ポンチ



「ハトメ抜き」ともいう。モカシンでは小さな穴は2mm、大きな穴は5mmサイズを使う

## トンカチ



ポンチを打つのに使う

## 打ち台



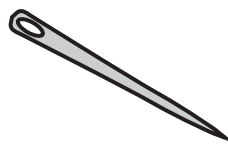
ポンチを打つ時、机などに傷がつかないように、下敷きを使う。木の板など傷がついてもかまわないものを使う

## クリップ



クリップや洗濯バサミなど、仮止めに使うと便利

## 手ぬい針

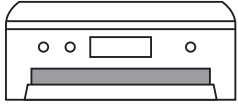


ちよっけい  
直径1～2mmぐらいの糸やひもが通る手ぬい用のぬい針

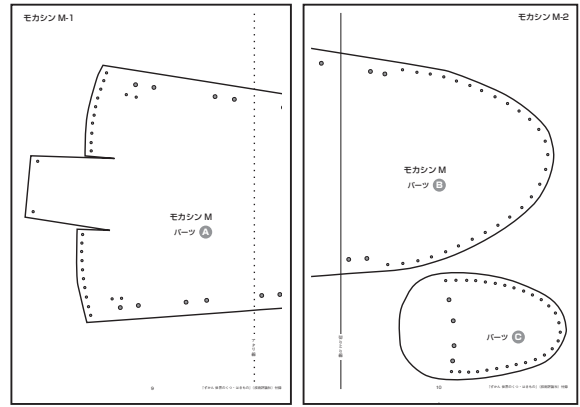
3 **かたがみ つく 型紙を作る**

かたがみ **型紙**のプリントを厚紙に貼って切り抜きます。ここでは「M」サイズで説明します。

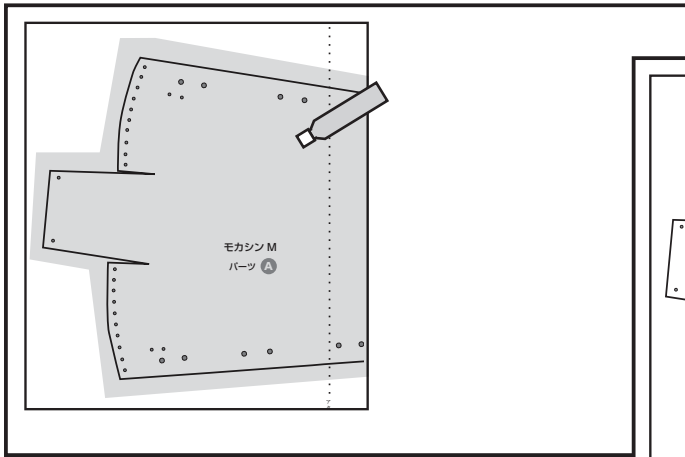
①プリントアウトする。



プリンターの設定は **A4「100%」か「実際の大きさ」** でプリント

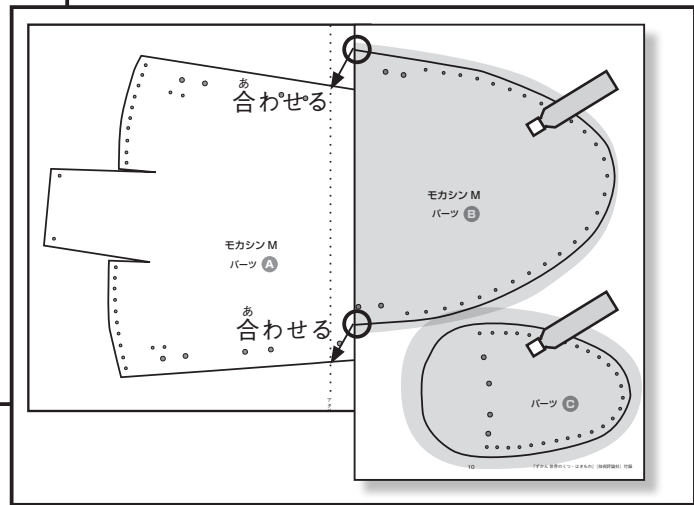


②プリントした**パーツ A**の裏にのりを塗り、厚紙に貼る。

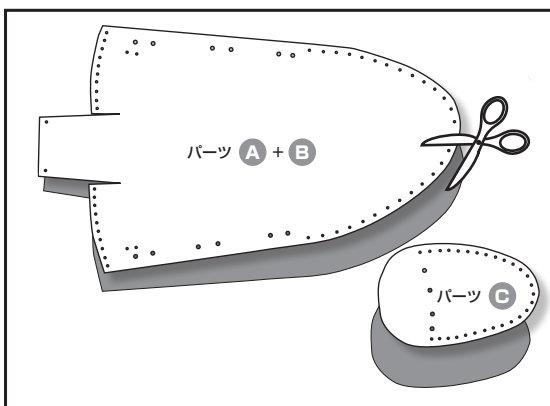


…裏にのりを塗る範囲 (これ以外の紙の余分な部分は切り取ってかまいません)

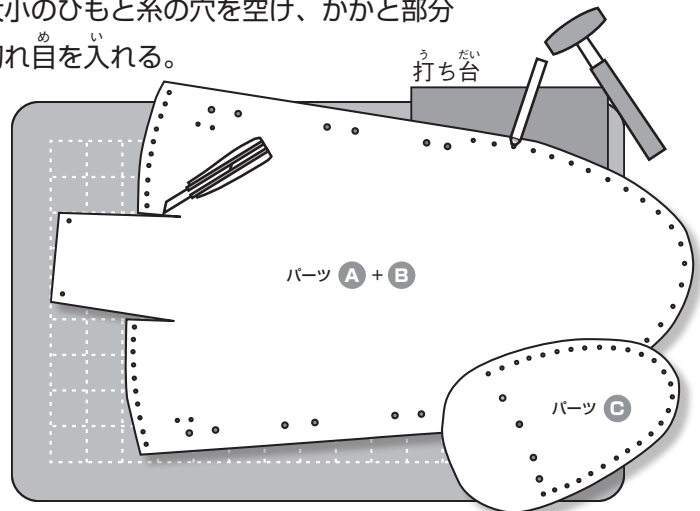
③**パーツ B・C**を「切り取り線」でカットして裏にのりを塗り、**パーツ B**の切り口を**パーツ A**のまわりの線と「アタリ線」に合わせて厚紙に貼る。



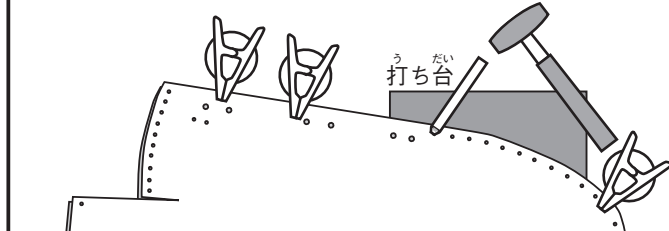
④まわりの線を切る (のりが乾いてから)。



⑤大小のひもと糸の穴を空け、かかと部分に切れ目を入れる。

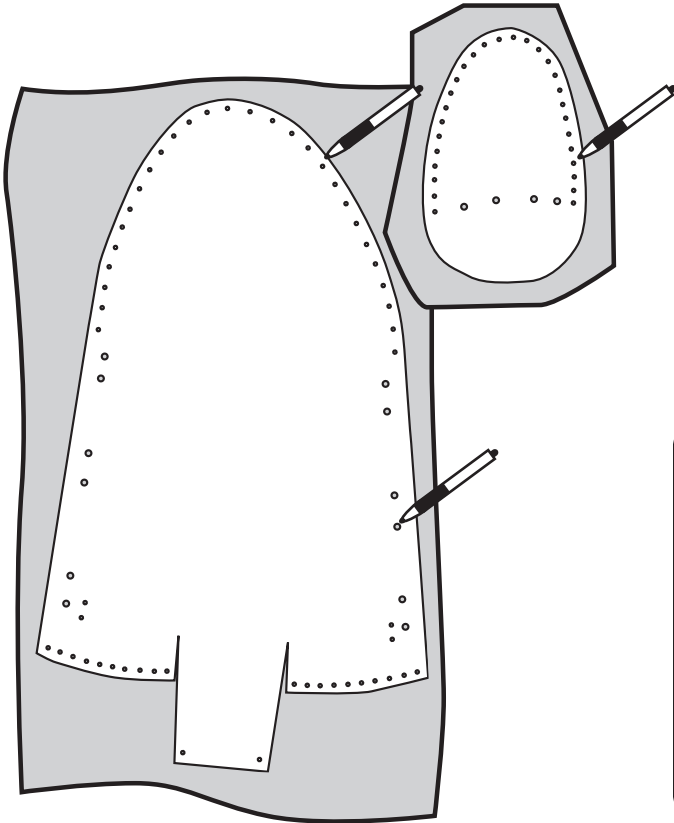


⑤の工程をはぶき、**かたがみ**と**型紙**と**革**をクリップなどでしっかりと止めて、**型紙**の上から穴を開ける方法もあります。

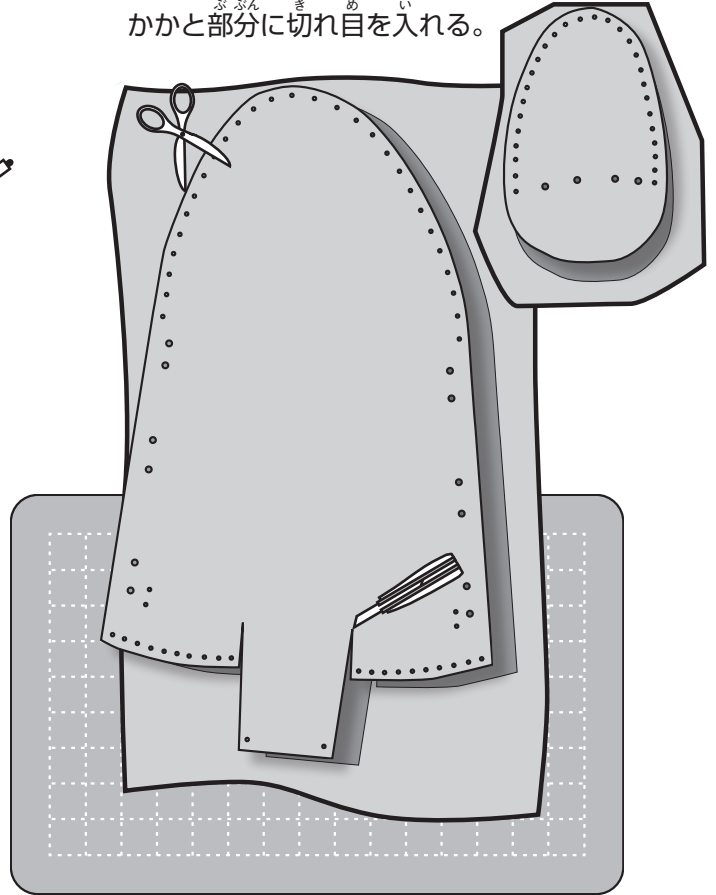


4 **かわ** <sup>き</sup> **革を切り、** <sup>つく</sup> **パーツを作る**

① <sup>かたがみ</sup> <sup>かわ</sup> <sup>お</sup> <sup>せん</sup> <sup>あな</sup> <sup>あ</sup> <sup>ぼしよ</sup> <sup>き</sup> 型紙を革に置いてまわりの線と穴を空ける場所、<sup>め</sup> <sup>い</sup> <sup>ぼしよ</sup> 切れ目を入れる場所をボールペンなどでなぞる。

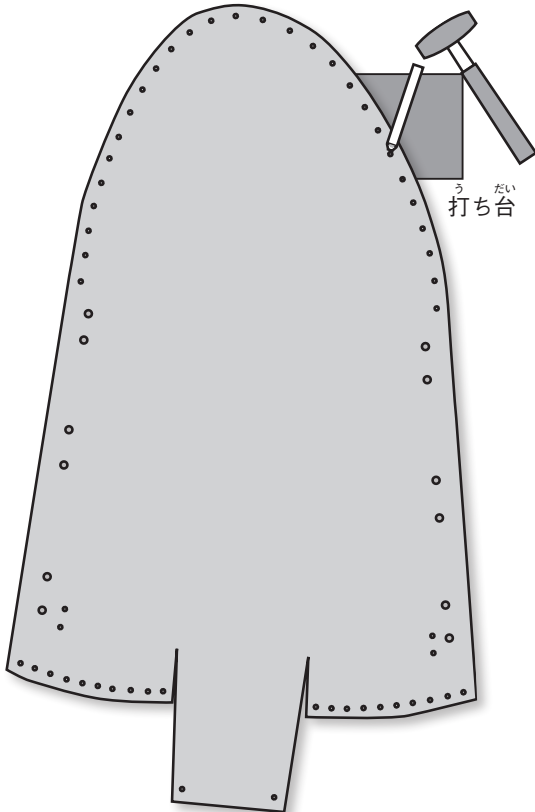


② <sup>せん</sup> <sup>き</sup> <sup>ぬ</sup> まわりの線をていねいに切り抜き、<sup>ぶぶん</sup> <sup>き</sup> <sup>め</sup> <sup>い</sup> かかと部分に切れ目を入れる。

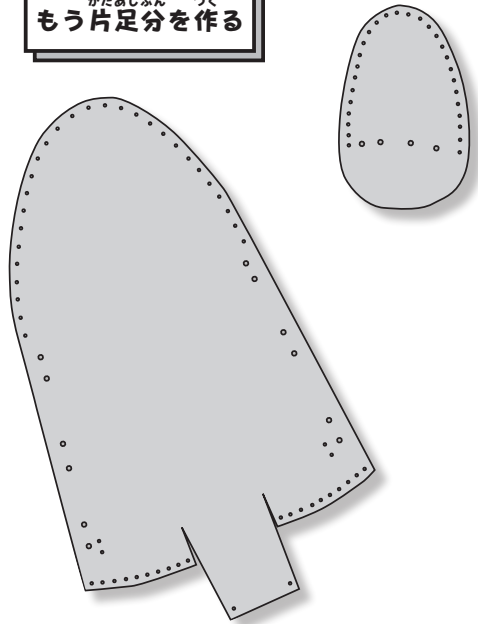


カッターマット

③ <sup>いと</sup> <sup>あな</sup> <sup>あ</sup> ひもや糸の穴を空けていく。



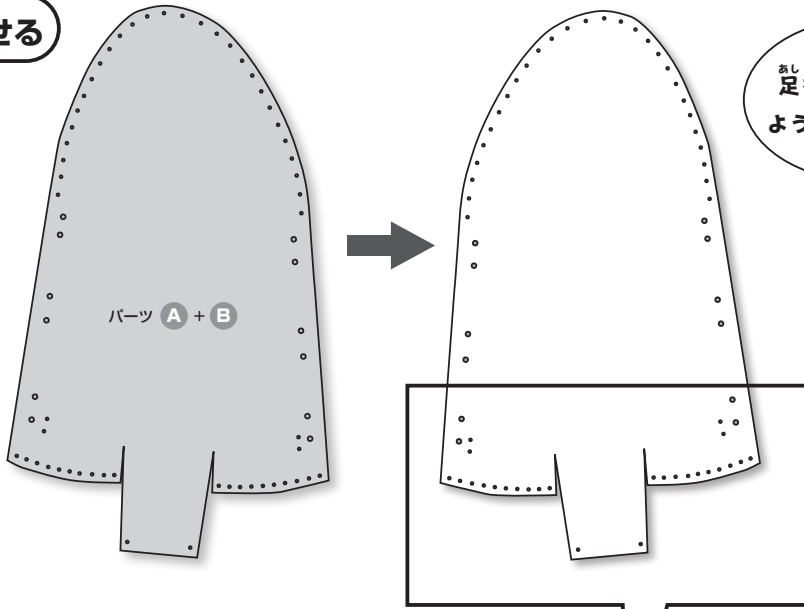
**かたがみ** **うらがえ**  
**型紙を裏返して**  
**おこな**  
**①～③を行い、**  
**かたあしふん** **つく**  
**もう片足分を作る**



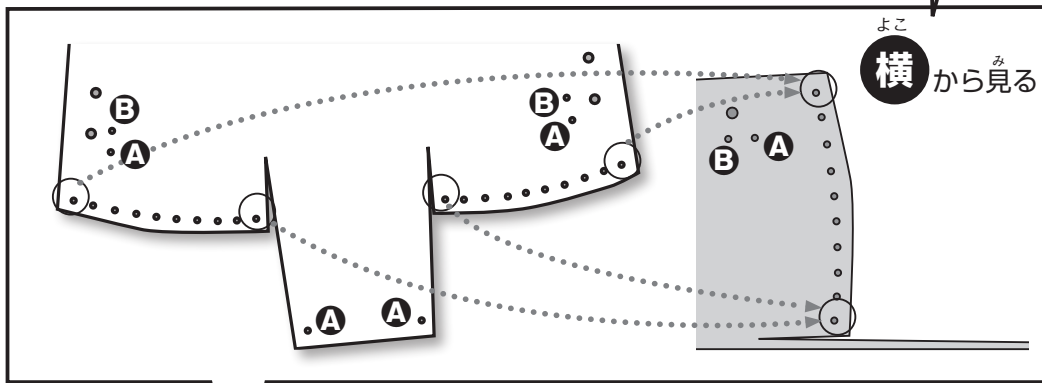
**5** **パーツを結び合わせる**

**〈かかとの部分〉**

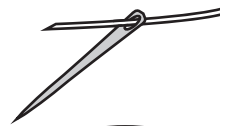
① **パーツ A + B** の外側 (表) にしたい側を、下に  
にする。



② **パーツ A+B** の左右のかかとなる部分を起こし、穴の位置を合わせる。

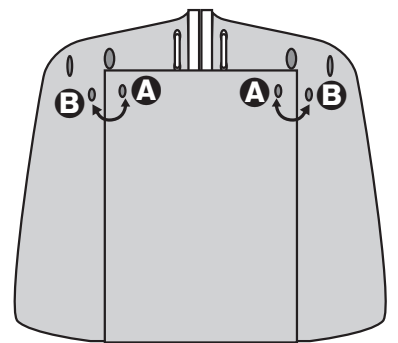
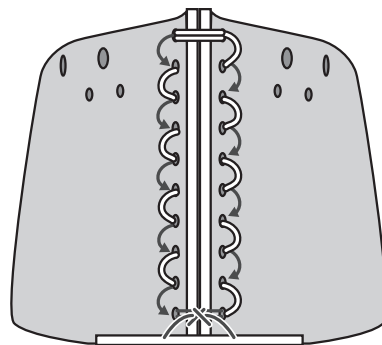
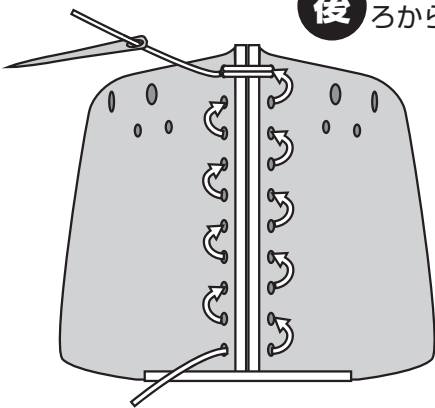


③ ぬい針に糸を通しておく。



いと糸の端を叩いてつぶし、斜めに切っておくと、針の穴に通しやすくなる

うしろから見る



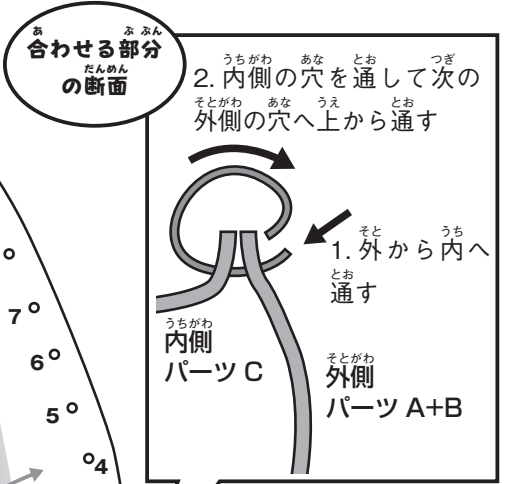
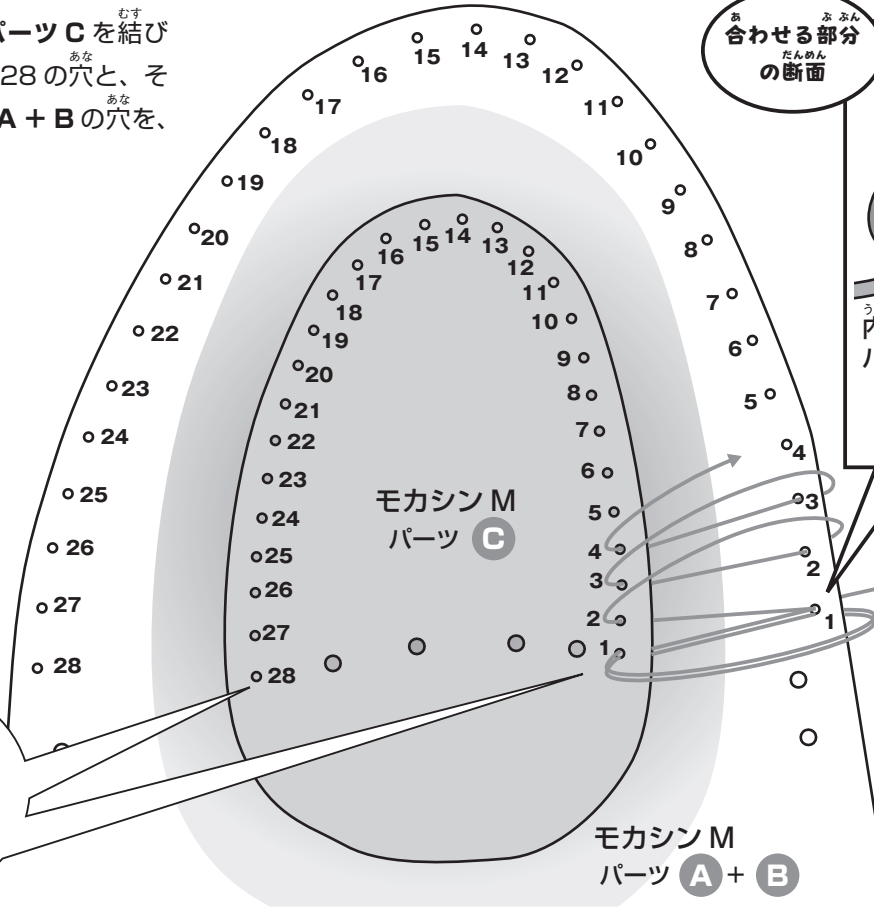
④ 下の穴から左右の穴に針と糸を通し、一番上の穴を通したら糸を2~3重にまわしてしめる。

⑤ 上の穴から下の穴に向かい、同じように針と糸を通していき(→)、一番下の穴で、また2~3重にまわして、固結びする。

⑥ かかと部分に当てる革をかぶせ、穴 A B を糸で結び閉じる。

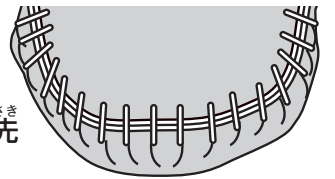
こぶぶん  
〈甲の部分〉

① **パーツ A + B** と **パーツ C** を結びつける。 **パーツ C** の 28 の穴と、それに対応する **パーツ A + B** の穴を、針と糸で結ぶ。



糸を通し終わったら、1 と 28 の穴は、糸を 2~3 重にまわし、固結びにする

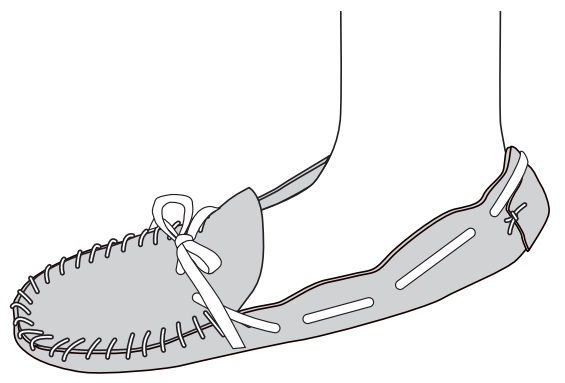
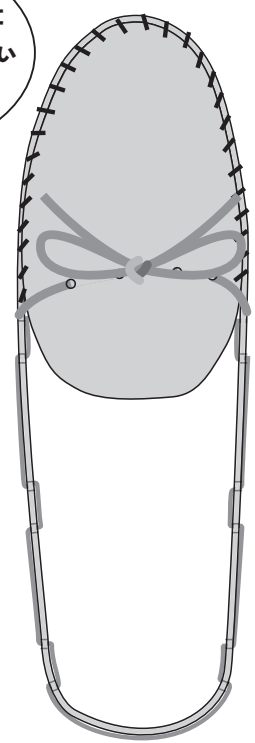
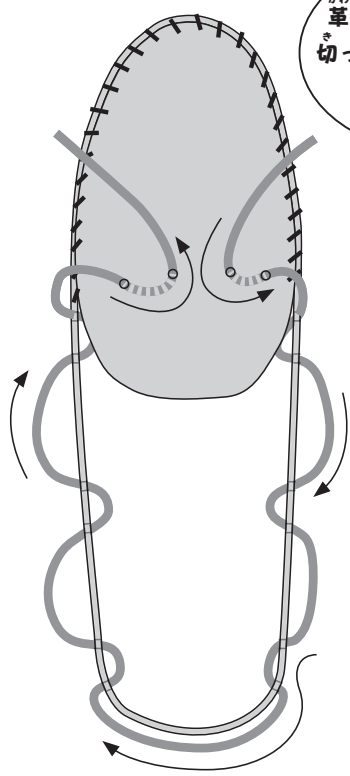
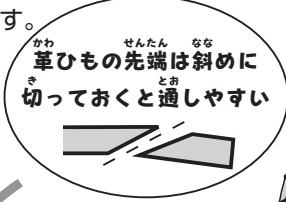
② 結んでいくとつま先がしぼられていくので、糸を通し終わったらしぼり具合が同じようになるように調節する。



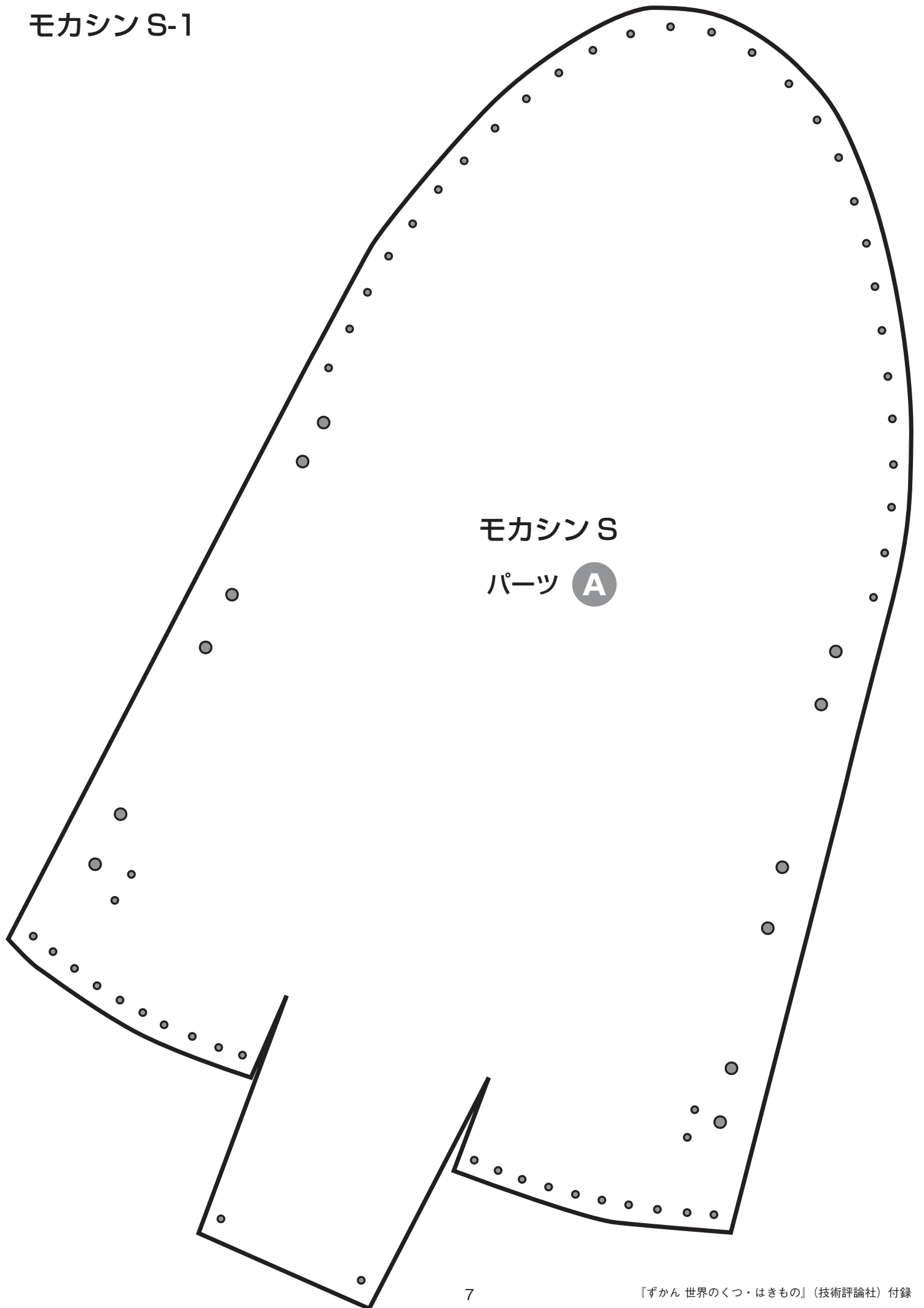
あしぐち  
〈足首 (はき口) の部分〉

① 足首のまわりをぐるっと回すように、大きな穴に革ひもを通す。

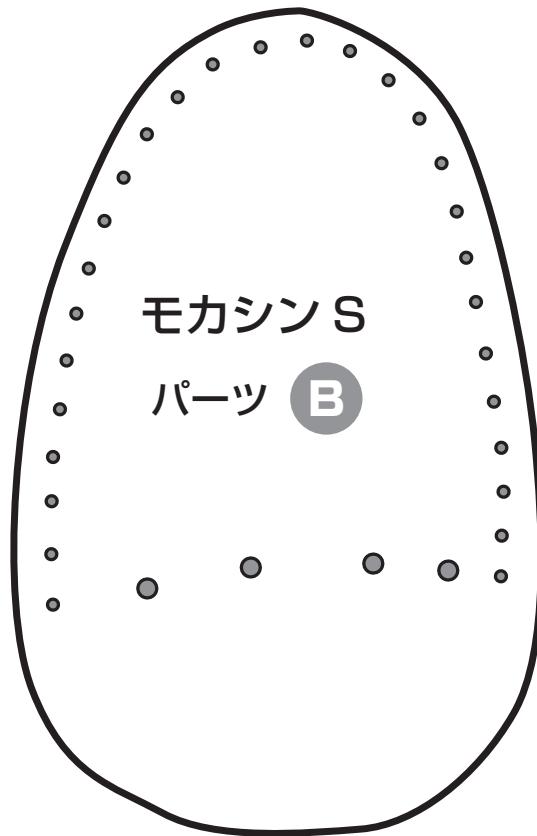
② 甲の上で革ひもをちょうちょ結びにする。



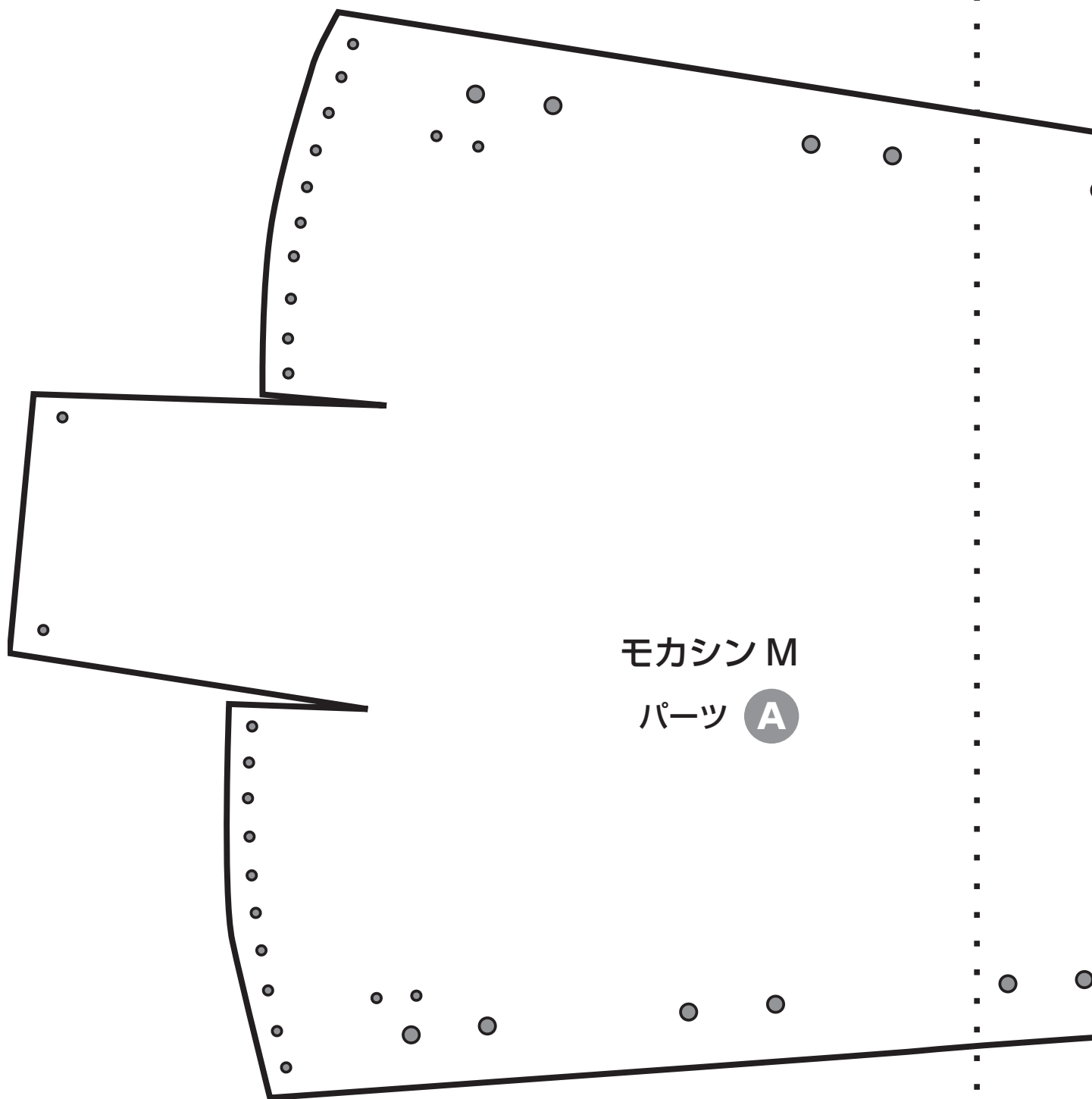
# モカシン S-1



## モカシン S-2

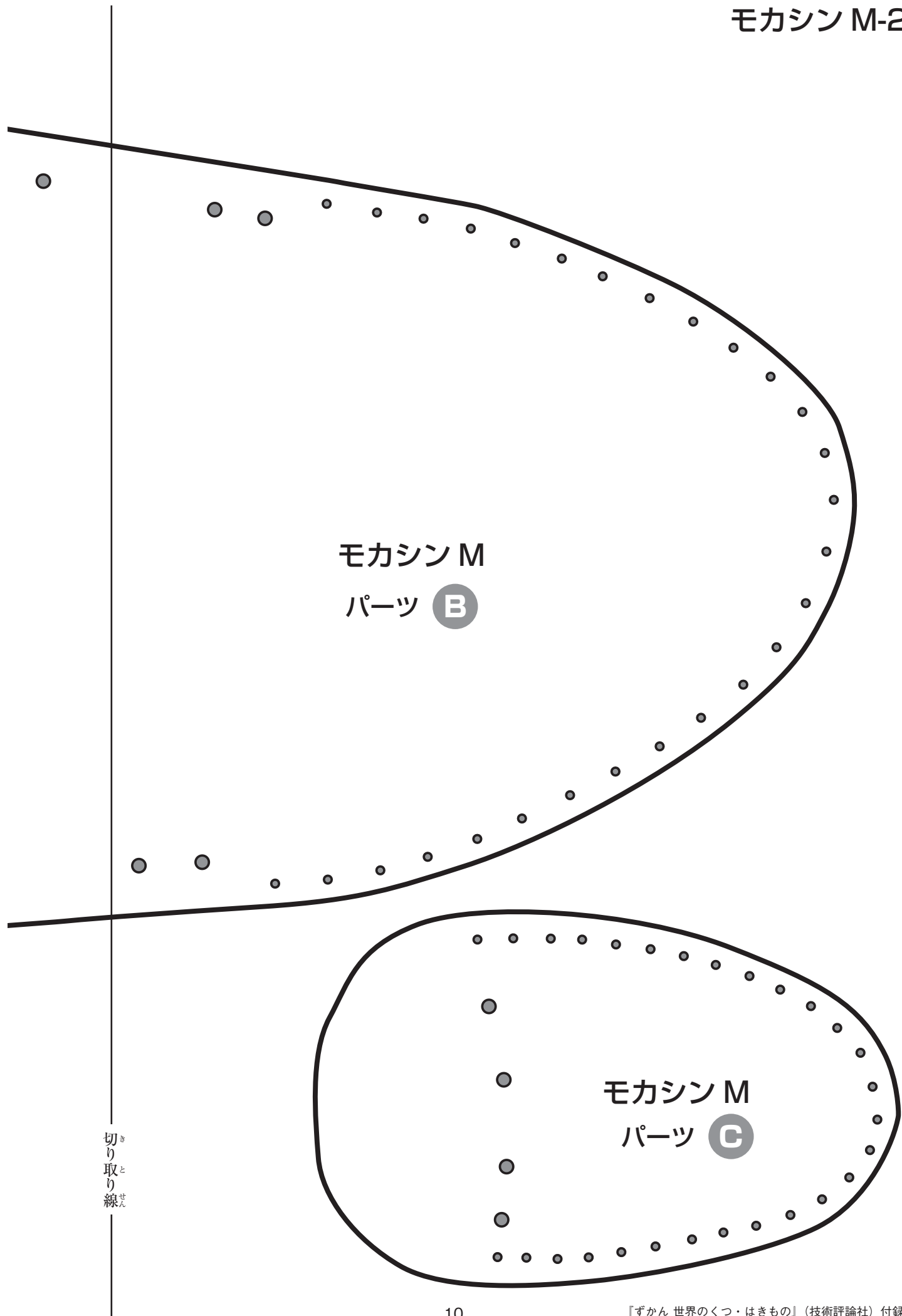


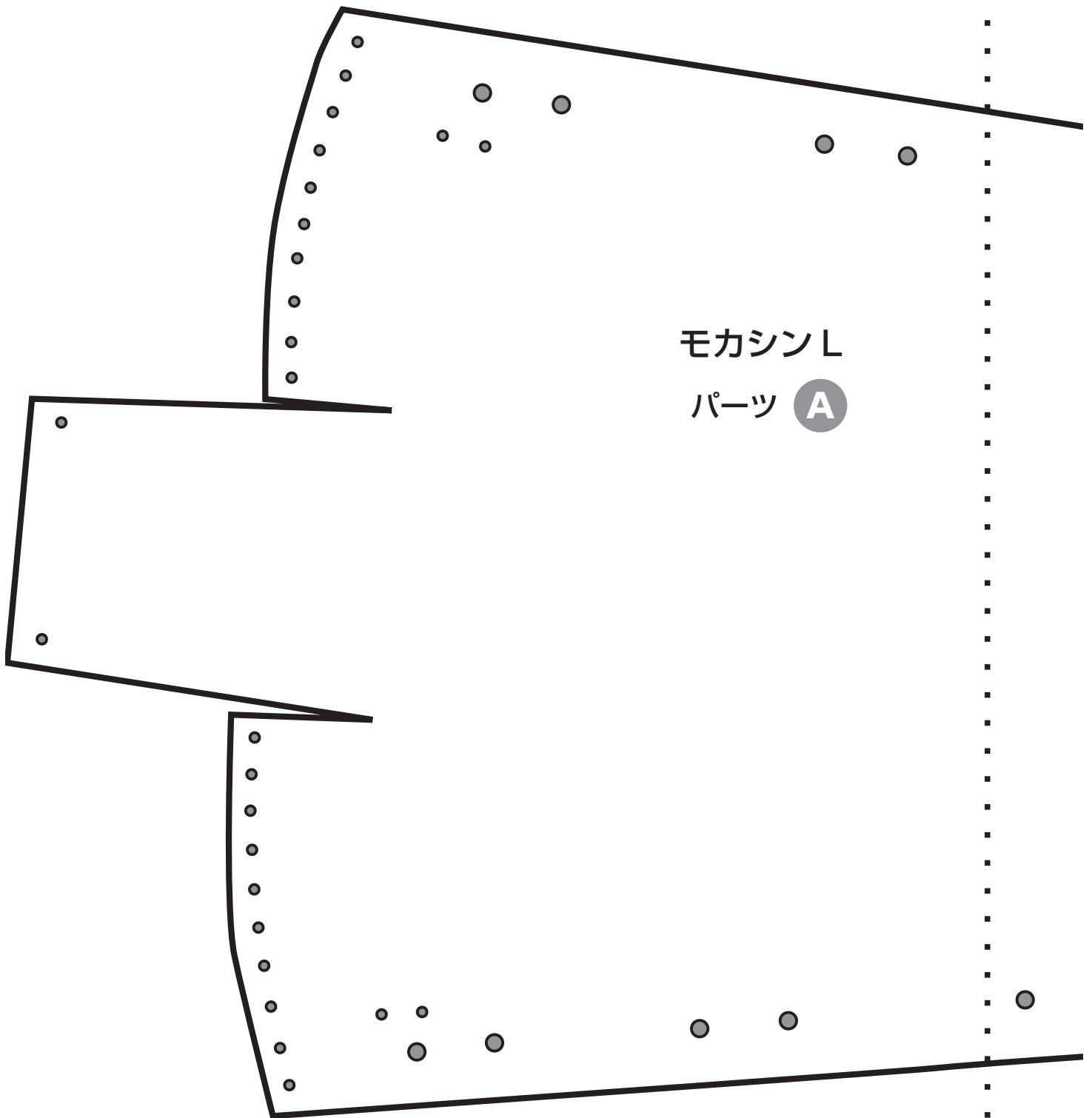




モカシン M  
パーツ A

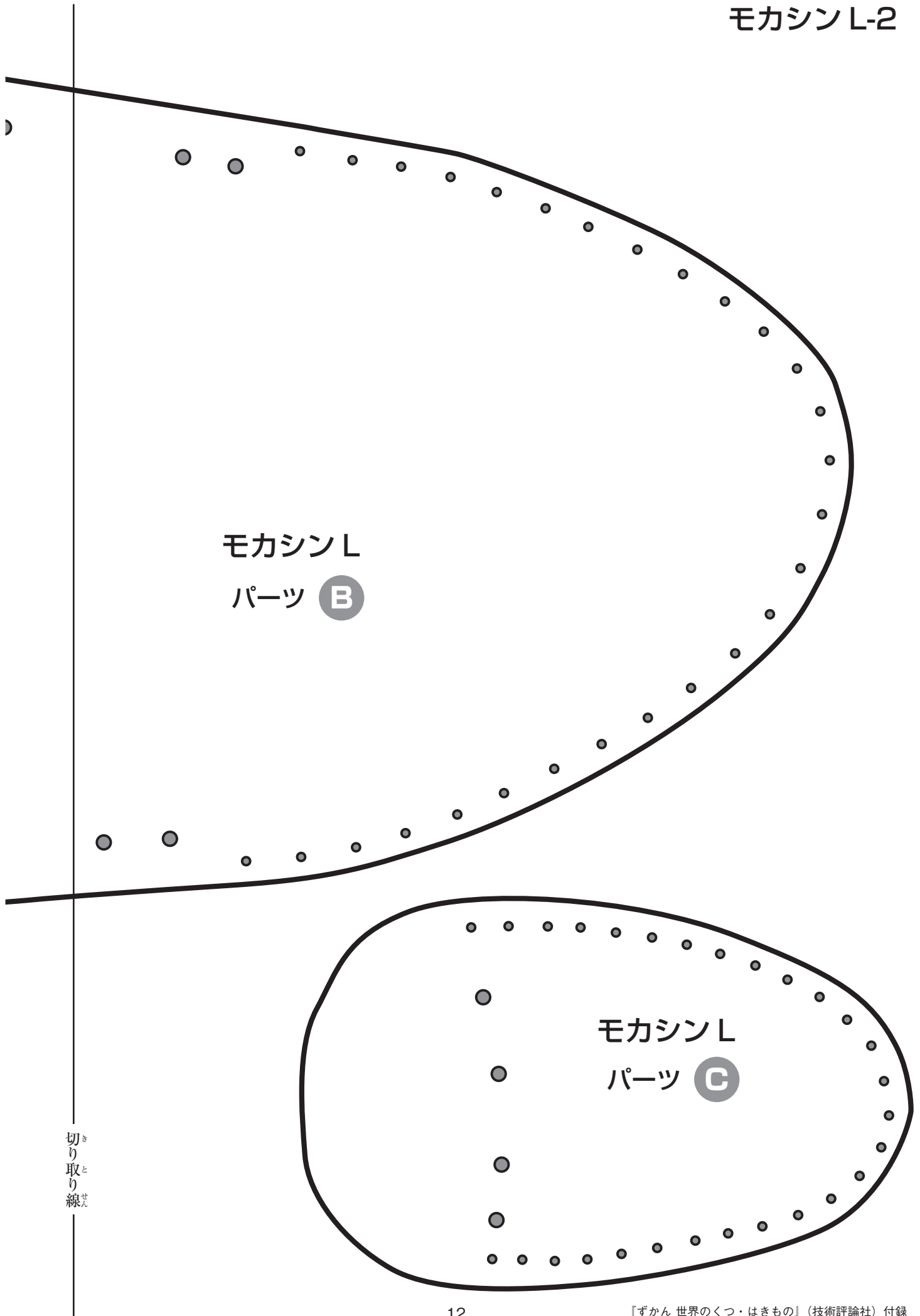
アタリ  
線





モカシン L  
パーツ A

アタリ  
線せん



切り取り線

モカシンL  
パーツ B

モカシンL  
パーツ C